つぎはなに色の電車がくるかなぁ。

「あー、オレンジ色だった」「ぼくの思ったとおりだ」。そんな子どもたちの声が聞こえてきます。
市内を走る長崎電気軌道。いわゆる「ちんちん電車」です。
1915（大正4）年に開通してからもう100年以上、市民の足として愛されてきました。
各地の路面電車が廃止や縮小するなか、長崎の「ちんちん電車」はずっと元気に走っています。
その理由のひとつが、日本初の「カラー電車」。
1964（昭和39）年、車体の全面をスポンサーのために塗装した電車が登場。
その広告収入を活かすなどの工夫で安い運賃を維持。
いまも市民に観光客に、なくてはならない交通手段です。
電停で待ちながら、子どもたちといっしょに、つぎの電車の色を予想してみませんか。

カラー電車の元祖ちんちん電車

長崎で、会いましょう。

一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会